

SDS 213 製品名 DHウレタンパッキン(カラーフォームECT)

安全データシート(SDS)

1.化学品及び会社情報

化学品等の名称	DHウレタンパッキン(カラーフォームECT)
製品コード	-
供給者の会社名	ビルトマテリアル株式会社
住所	東京都目黒区駒場3-12-41
電話番号	03-3460-3111
ファックス番号	03-3460-3110
電子メールアドレス	-
緊急連絡電話番号	-
推奨用途	-
仕様上の制限	-

本製品の組成及び成分情報、危険有害性情報、応急処置に関する情報、取扱い上の注意事項等については、次頁以降に記載された製品製造会社の安全データシート(SDS)をご参照ください。

本データシートは日本産業規格 Z 7253:2012「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」(以下「JIS」という)に準じて作成されており、用語の定義は、JIS に従っています。

本データシートは、製品の安全な取り扱いを確保するための「参考資料」として、作成時点で入手可能又は、弊社の有する情報を取り扱い事業者にご提供するものです。取り扱い事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実体に応じた適切な処置を講ずることが必要です。

従って、本データシートは、製品の安全を保証するものではなく、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。

安全データシート(SDS)

1 製品及び会社情報

- ◇製品の名称 :DHウレタンパッキン(カラーフォームECT)
- ◇会社名 :日鉄鋼板株式会社
- ◇住所 :東京都中央区日本橋本町一丁目5番6号 第10中央ビル
- ◇担当部門 :営業総括部
- ◇電話番号 :03-6848-3700
- ◇FAX.番号 :03-6848-3797

「2～16」の項目につきましては、次頁以降に記載してあります製品製造会社の安全データシート(SDS)をご参照ください。

本データシートは日本産業規格 Z 7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」(以下「JIS」という)に準じて作成されており、用語の定義は、JISに従っています。

本データシートは、製品の安全な取り扱いを確保するための「参考資料」として、作成時点で入手可能又は、弊社の有する情報を取り扱い事業者にご提供するものです。取り扱い事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実体に応じた適切な処置を講ずることが必要です。

従って、本データシートは、製品の安全を保証するものではなく、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
製品名 : カラーフォーム ECT
一般名 : 軟質ポリウレタンフォーム

提供者の情報

社名 : 株式会社イノアックコーポレーション
住所 : 〒446-8504 愛知県安城市今池町三丁目1番36号
担当部門の連絡先 : 発泡品事業部 品質保証部 環境管理課
電話番号 : 050-3135-8287
ファックス番号 : 0566-98-5074
緊急連絡先電話番号 : 050-3135-8287

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理的及び化学的危険性 : 分類基準に該当しない。
健康に対する有害性 : 分類基準に該当しない。
環境に対する有害性 : 分類基準に該当しない。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : 軟質ポリウレタンフォーム
別名 : ポリエーテル系ポリウレタンフォーム
CAS No. : 9009-54-5
成分及び含有量 : ポリウレタン 95%以上
官報公示整理番号(化審法) : (7)-857

4. 応急措置

吸入した場合 : 加工によりガス、煙等が発生する場合は状況に応じて呼吸保護具を着用する。
皮膚に付いた場合 : 燃焼時等の溶解物が付着した場合は火傷に対する処置を行う。
目に入った場合 : 直ちに清浄な水で洗い流し、目を傷つけている恐れがあるため、眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合 : のどに詰まり窒息する恐れがあるため、直ちに吐き出し医師の診断を受ける。
最も重要な徴候及び症状 : 特に無し
応急措置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて適切な、目・皮膚の保護具、及びマスク等の保護具を着用する。
医師に対する特別注意事項 : 特に無し

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 大量の水、泡消火器、粉末消火器、二酸化炭素消火器等を使用する。
使ってはならない消火剤 : 特に無し
火災時の特有の危険有害性 : 燃焼、加熱等により有毒ガス(CO, CO₂)、煙を発生する事がある。
特有の消火方法 : 呼吸保護具を着用し、風上より行う。消火剤を使用し消火する。消火後は、さらに大量の水をかけ監視を行う。(消火後も内部に火種が残っていて再発火する可能性がある為)
消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な耐熱性防護着、防毒マスク等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 : 特に無し
環境に対する注意事項 : 特に無し
回収・除去方法 : 収集する
二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項 : 可燃物である為、熱源や火気に近づけない(火気厳禁)。熱プレスのような高温での加工をする場合は分解ガスによりかぶれたり、吸入により異常を感じる場合があるので、十分な排気・換気装置を設ける必要がある。

保管上の注意事項

： 数量20m³以上は、指定可燃物(合成樹脂類)として消防法に定められた通りに保管する。直射日光、高温多湿を避け、過度の積載をしない。(ポリウレタンフォームは紫外線により黄変するので、その旨をご理解の上、取扱い願います。)

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度
設備対策

： 設定されていない。
： 加工によりガス、煙等が発生する場合は排気・換気装置を設置する。

保護措置

： 加工によりガス、煙等が発生する場合は排気・換気装置を設置する。

9. 物理的及び化学的性質

外観
臭い
色
見掛け密度
可燃性
発火温度
揮発性
自己反応性
溶解度

： 固体(発泡体)
： 無臭
： 灰、白、黄、緑、桃、赤、紫
： 18kg/m³(代表値)
： あり
： 420°C(代表値)
： なし
： なし
： 水に不溶

10. 安定性及び反応性

避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物
自然発火性
水との反応性
安定性

： なし
： なし
： なし
： なし
： なし
： 常温で安定

11. 有害性情報

急性毒性
皮膚腐食性及び皮膚刺激性
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性
呼吸器感作性又は皮膚感作性
生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性
特定標的臓器毒性、単回暴露
特定標的臓器毒性、反復暴露
吸引性呼吸器有毒性

： 有害性を示す情報なし。
： 有害性を示す情報なし。
： 有害性を示す情報なし。
： 有害性を示す情報なし。
： 有害性を示す情報なし。
： 有害性を示す情報なし。
： 有害性を示す情報なし。
： 有害性を示す情報なし。
： 有害性を示す情報なし。
： 有害性を示す情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層有害性

： 有害性を示す情報なし。
： 有害性を示す情報なし。
： 有害性を示す情報なし。
： 有害性を示す情報なし。
： 有害性を示す情報なし。

13. 廃棄上の注意

安全で環境上望ましい廃棄の方法

： 国、都道府県並びに地方自治体の法規及び条例を遵守して処理する。

容器・包装の適正な処理方法

： 国、都道府県並びに地方自治体の法規及び条例を遵守して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号

： 非該当
・荷崩れのないように確実に行う。
・直射日光等の高温を避ける。
・損傷のないように積み込む。

15. 適用法令

消防法

： 第9条の4で規定する指定可燃物に該当。条例別表の「合成樹脂類発泡させたもの」に区分される為、20m³以上を貯蔵または取り扱う場合は、所轄消防署長に届ける必要がある。

各市町村条例

： 廃棄方法

16. その他の情報

- ・この製品安全データシートは現時点で入手できた資料や情報に基づき、通常の手扱いを対象に作成しておりますが、参考情報として提供するものであり、記載のデータや評価に関して保証をするものではありません。
- ・ポリウレタンフォームは事業者の手扱いにおいて固形物以外の状態にならず、かつ粉状または粒状にならない製品に該当しますので、本来SDSやラベルを提供する必要はありません。また、内容は政令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。
- ・数値は品質保証値ではありません。